

# 高等部 レベルアップ 高等部!

未来を見据え、常に自分を成長させようとする高校生を目指します。



# 教育課程

## ➤【普通科】

高等学校に準ずる教育を行っています。

## ➤【自立活動】

教育課程に位置付け、聴覚障害等に関する学習活動を行います。

➤ 生徒一人一人の進路実現を目指した授業を行っています。

## 高等部公開、体験入学

- 年に2回、5月に高等部公開、夏休みに体験入学を行っています。
- 聾学校の授業や部活動の見学や特徴ある授業の体験をします。
- 聾学校の授業が実際に受けられます。  
中学生の皆さん、ぜひご参加ください。

# 特色ある授業

## 【産業実習】

卒業後の就職希望に向けて、環境整備やものづくりなどの作業を取り入れています。



## 【メディアと社会】

3年の情報技能類型、学習基礎類型が履修します。情報モラルを学びながら、動画作成を行う授業です。さまざまなメディアを使って自分を表現する力を磨きます。

## 【情報スキル】

2年、3年の学習基礎類型が履修しています。パソコンのワープロ機能をはじめ、表計算やプレゼンテーションソフトなどの技術の向上を目指します。



# 年間行事

修学旅行(広島 大阪 7月)



遠足(リトルワールド 4月)



進路行事  
(進路について考える会 8月)



文化祭の様子(10月)

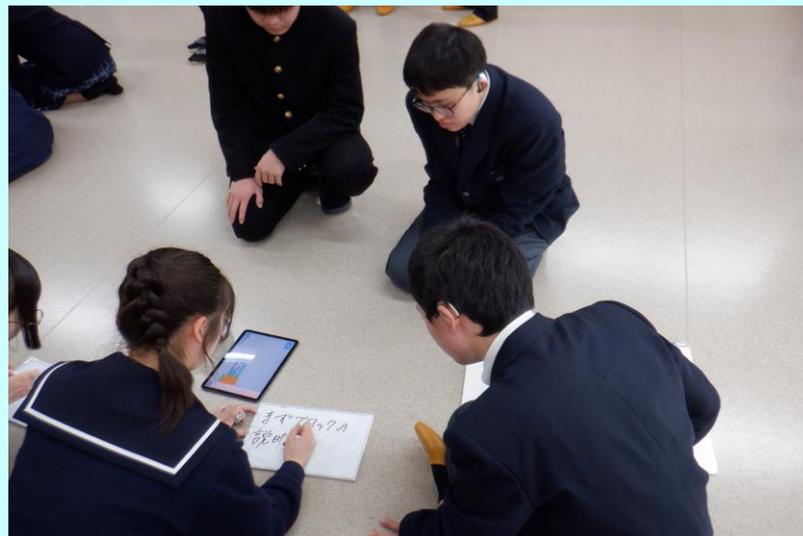
# 高大連携・交流

## 筑波技術大学との高大連携授業



令和元年度より筑波技術大学の先生の講義を受けています。

情報やデザインに関する内容や、聴覚障害に関する法律や周りの人に対する自分の障害の伝え方について学習しました。



## 岡崎商業高等学校との交流



## 北部地域福祉センターでのボランティア交流

# 部活動(運動部)

東海地区聾学校の大会だけでなく、高体連等の大会にも出場しています。



陸上競技部



バレーボール部



卓球部

# 部活動(文化部)

## 和太鼓部



和太鼓部は、高文連の発表会にも参加し、よい評価をいただいています。

アート部は、日々制作活動を進め、運動会の応援旗や文化祭での作品展示などの活動を行っています。

進路探究部では、進学希望者が進路実現に向けた学習を行っています。



## アート部

# 制服

いくつかの候補の中から生徒の投票によって選ばれた制服です。

冬服



夏服



ネクタイとリボン、スラックスとスカートは選択できます。  
夏はTPOに応じて、ポロシャツ又は開襟シャツで過ごします。

# 進路

フィールドワークでは、大学や会社の見学をし、進路希望を定めていきます。個々の進路希望に合わせて、現場実習も積極的に行っています。



# 進路(高等部での生活)

在校生



岡崎聾学校高等部のよいところは、先生に進路や勉強の質問、相談をしやすいところ、部活動が楽しいところ、情報を得る手段がたくさんあるところです。高校を選ぶときには、環境が整っているか、3年間通うことができるかを考えることが大切だと思います。

私が岡崎聾学校を選んだ理由は、授業が分かりやすく、就職もしやすいからです。高等部で生活して成長したと思うことは、いろいろなことに挑戦するようになったことです。生徒会にも立候補しました。自分を変えたり、できることが増えてきたと感じています。

高等部では、進路探究の授業があります。授業では、自分の進路についてじっくり考えたり、働くために必要な力について考えたりします。また、現場実習の機会もあります。実習前はとても緊張しましたが、実習をやってみて分かったことも多かったです。

# 進路(進路に関する行事)

模擬試験(高等部1・2・3年)  
入社試験対策試験(高等部2・3年)

現場実習(高等部1・2・3年)  
それぞれの希望進路に近い職場で実習を行っています。

フィールドワーク(高等部1年)

企業訪問では、人事担当者と聴覚障害のある社員から話を聞きます。  
大学訪問では、情報保障の説明を聞き、大学生と交流をします。



先輩の話を聞く会  
(高等部3年)

高等部3年の生徒が小学部高学年の児童に小学部の間に行っておくとよいことを話します。

高等部の先輩と語る会  
(高等部3年)

高等部3年の生徒が中学部生徒に自分の進路を決めた理由や中学部の間に行っておくとよいことを話します。



進路について考える会  
(高等部1・2・3年、中学部)

企業の人事担当者と本校卒業生から仕事の内容や経験を踏まえた話を聞き、働くために必要な力や今すべきことを考えます。



面接練習(高等部3年)

校内の職員に面接官を依頼し、面接練習を行っています。

# 進路(卒業後の生活 就職)



トヨタ自動車株式会社  
(生産技能職) 就職

入社してすぐは分からないことや困ったことがたくさんありました。そのときは、先輩や上司に相談することを心がけました。その結果、技術の向上だけでなく、上司や先輩とたくさんコミュニケーションをとることができました。報連相を行うだけで上司や先輩からの好感度もUPします。また、仕事は作業だけでなく、報告書の作成もあります。そのため、高校のうちから、相手にとって分かりやすい文章を書くことが大切です。

私の主な業務は、PCを使ってデータ入力や伝票処理をすること、表計算の機能を使って、使いやすい台帳にすることです。迷った時は、先輩や上司に報連相するようにしています。また、繰り返す作業はマニュアルを作成し、質問する時間を削減させる等、工夫をしています。

高等部では、産業実習の授業があります。「これはいいのかな?」と迷ったら、先生や周りの友達に報連相してみてください。また、「こっちの方が効率いいかも?」と思ったら、遠慮せずに相談すること。会社で行っている改善案につながります。



トヨタ紡織株式会社  
(業務職) 就職

# 進路(卒業後の生活 進学)

人間環境大学  
環境科学部  
フィールド生態学科

大学の授業は、基本的にプレゼンテーション資料を基に進められています。人数によっては、学生同士でグループワークを行います。相手の言っていることが分からなくて困ることも多いので、友達に協力してもらっています。授業によっては文章教材(教授が話す内容が文字化されたもの)があるため、内容を聞き逃したときに活用しています。

課題が毎日出ることはなく、決められた期限までにレポートを提出することが多いです。レポートの体裁が細かく決められているため、時間がかかります。大学の課題の締め切りは厳しく、提出が1秒でも遅れると単位を落としてしまうこともあります。そのため、高校生のうちから締め切りをしっかりと守る習慣をつけることが大切です。



# 進路(Q&A)

Q1: 職業科(普通科以外の学科)へ進学した方が、就職しやすいですか?

A1: 高卒を採用する企業の入社試験は、実技ではなく、筆記試験(国語、数学、英語、作文、一般常識など)と面接です。どの科に進学しても、まずは、学力を付けることが大切です。岡崎聾学校では、基礎学力を付けることを中心に置きながら、情報や産業実習の授業も設定しています。また、就職希望者へは、希望企業での現場実習(3日~2週間)や見学会への参加など個別対応を行っており、ほとんどの生徒が希望の企業に入社しています。

Q2: 普通高校よりも、聾学校を卒業した方が就職しやすいのですか?

A2: 障害者雇用と一般新卒の雇用は違います。岡崎聾学校には、障害者雇用の求人情報が多く集まります。また、現場実習後の進路探究の授業で振り返りを行い、自分に合うかどうかをじっくりと考えることができることも普通高校と違います。本校では、聴覚障害者の就職に対しての支援が整っているため、離職者は少ないです。

# 進路(Q&A)

Q3: 大学に進学したいのですが、そのための進路指導はどのようなものですか？

A3: 1年の進路探究の授業で、大学で必要な情報保障、大学卒業後の進路について考えます。また、模擬試験を受験し、自分の学力を把握します。志望校が決まれば、その大学の情報を提供したり、勉強方法を話し合ったりするなど、個別に支援を行っています。また、入試前には、対策勉強や面接練習も行っています。

Q4: 聴覚障害の生徒が大学入試のときに気を付けることは何ですか？

A4: 自分の障害を理解して、必要な場合は、「受験特別措置」を申請しましょう。そのためには、必要な手続きについての情報を集めることが大切です。岡崎聾学校では、生徒がオープンキャンパスに参加する際に、合理的配慮や自分に必要な情報保障について大学担当者と話すようにしています。また、進路指導主事が生徒の志望大学と連絡を密にとって支援体制を相談し、生徒に不利にならないよう話し合っています。